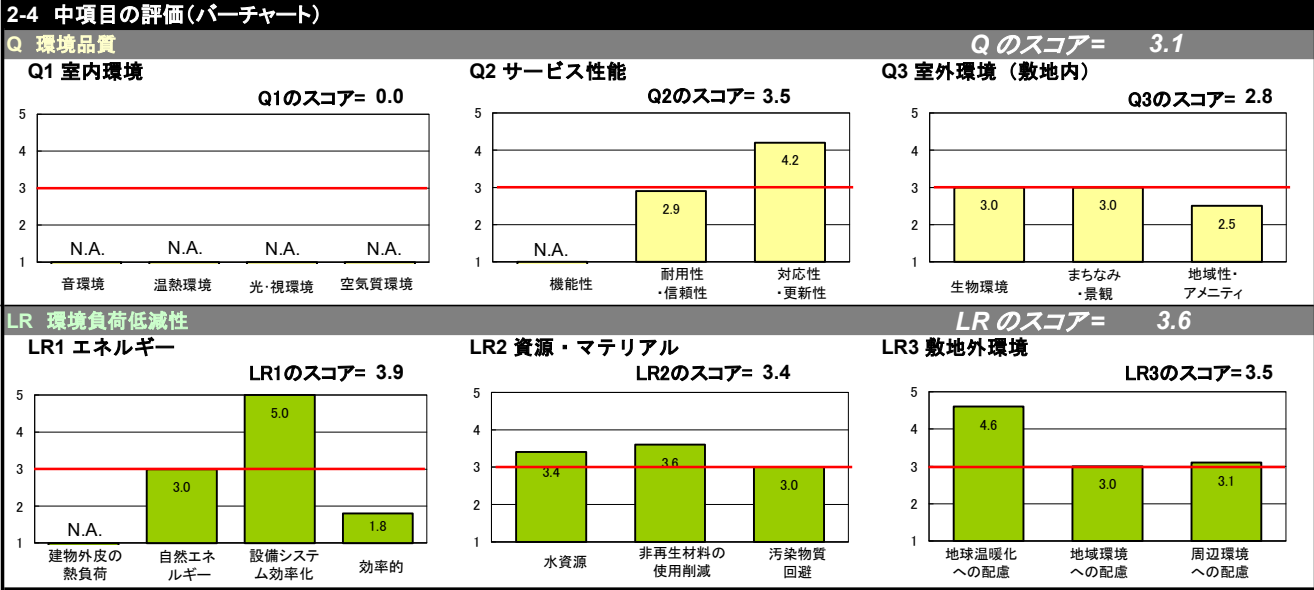
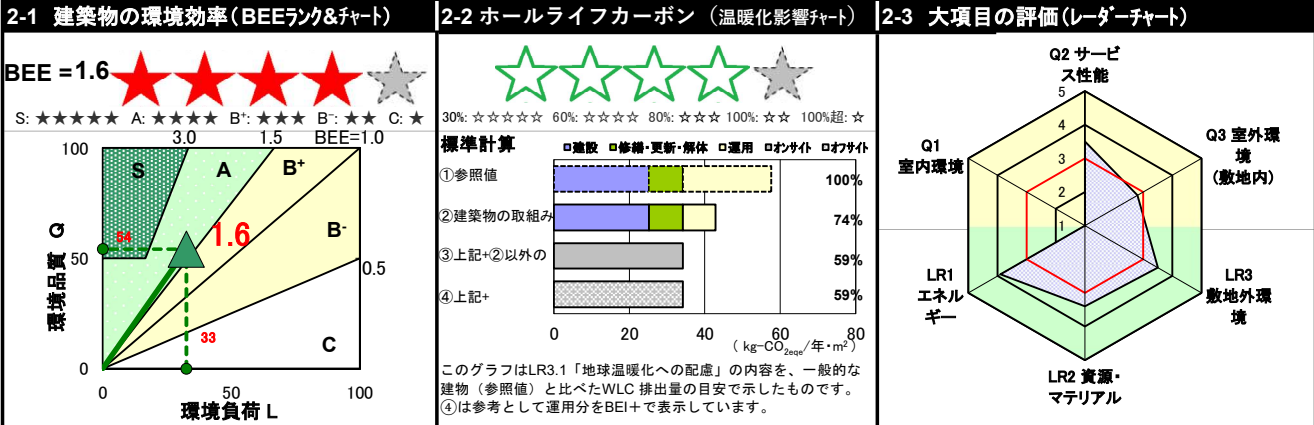


CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2024年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2024_v1.0

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	スタリア磯子	階数	地上4F
建設地	神奈川県横浜市磯子区新磯子町30-8	構造	S造
用途地域	工業専用地域	平均居住人員	250 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	竣工段階評価
竣工年	2026年3月 竣工	評価の実施日	2026年7月6日
敷地面積	9,909 m ²	作成者	大末建設株式会社
建築面積	5,626 m ²	確認日	2026年7月6日
延床面積	20,196 m ²	確認者	大末建設株式会社



3 設計上の配慮事項	
総合	その他
神奈川県横浜市に計画された物流倉庫である。広大な敷地内の既存緑地や樹木を保存し、自然環境の保全や創出に配慮した計画としている。	
Q1 室内環境 ・評価対象外	Q2 サービス性能 ・耐用年数の長い外装材や内装材、配管材を採用し、建物の長寿命化に配慮する。 ・十分な階高を確保し、空間の対応性・更新性に配慮する。
Q3 室外環境(敷地内) ・広大な敷地の外周部を積極的に緑化するとともに、自生種の採用による生物環境の保全と創出に配慮する。	
LR1 エネルギー ・太陽光発電システムを採用し、エネルギー使用量削減に配慮する。	LR2 資源・マテリアル ・節水効果のある水栓等を採用し、水資源保護に配慮する。 ・リサイクル材を採用し、非再生資源の使用量削減に配慮する。
LR3 敷地外環境 ・適切な駐輪・駐車台数を確保し、周辺の道路インフラへの負荷抑制に配慮する。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
■「ホールライフカーボン(WLC)」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の温室効果ガス排出量のこと。ここでは、建築物の寿命年数で除した年間温室効果ガス排出量で表示。
■評価対象のWLC排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

無断転載禁止